



○美郷町概要

・ICTの整備状況

- 平成22年度 全教室に50型デジタルテレビ、ノートパソコン、有線ネットワーク、各校に1台ずつIWBを整備
- 平成26年度 職員室・普通教室に無線ネットワーク、職員数のタブレット端末を整備
- 平成27年度 特別教室・体育館に無線ネットワーク
ユニット型電子黒板、児童・生徒数の
タブレット端末を整備 ICT支援員を配備
- ☆小中学校4年生以上の普通教室・特別教室に無線ネットワーク、
電子黒板、一人1台のタブレット端末を整備
ICT支援員を各校 週1日程度 配備
- 平成29年度 小学校3年生に一人1台のタブレット端末を整備

美郷町では平成22年度から本格的にICT環境の整備にとりかかりました。
平成22年度は全教室にデジタルテレビとノートパソコン、有線ネットワーク、各校に1台ずつの電子黒板(IWB)を整備しました。

平成26年度には22年度に整備した有線ネットワークを無線ネットワークに変更し、各校、教職員数分のタブレットPCを整備しました。

平成27年度には特別教室、体育館、校庭も無線ネットワーク環境を整備し、学校敷地内は無線ネットワークが使えるようにしました。

また、小学校4年生から中学校3年生までに一人1台のタブレットPCを整備するとともに、平成22年度に整備したデジタルテレビにユニット型電子黒板を設置し、全教室で電子黒板が使えるようにしました。

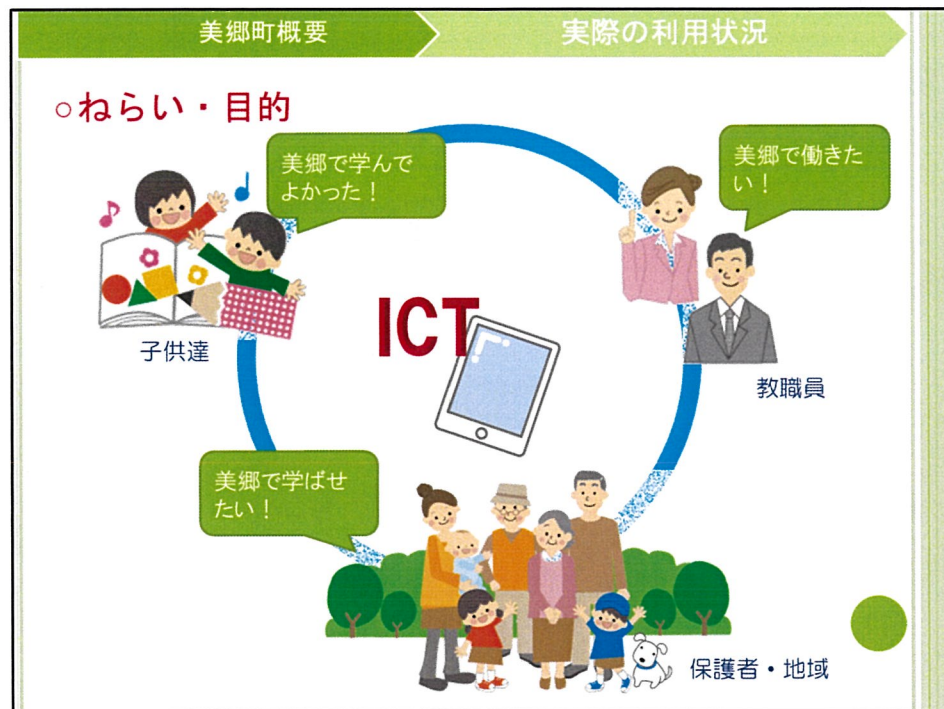
そして、ICT支援員を配置することによって、タブレット端末の更新や教員と相談しながら、教材を開発できるようにしました。

平成28年度現在、全ての教室、体育館に無線ネットワーク、電子黒板、小中学校4年生以上に一人1台のタブレット端末を整備するとともに

ICT支援員が各校 週1日程度 巡回して支援する体制を整えています。

さらに、今年度は小学校3年生に一人1台のタブレットPCを整備します。

平成27・28年度文部科学省のICTを活用した教育推進自治体応援事業(ICTを活用した学びの推進プロジェクト)の指定を受けて、ICT活用実践を図った。



本町はこれらの環境整備によって、子どもにとっても、保護者・地域にとっても、また本町で働く教職員にとってもICT教育を進めて「よかった」と思えるようになって欲しいと考えています。
この考えはまさに、美郷町の教育の魅力化につながっていきます。



スカイプを利用して遠隔地（ALTの家族・教材の作者）との交流学习

それでは、このような環境を利用して、具体的にどのような授業が展開されているのか紹介します。

まず、上の写真は本町に赴任したALTの家族と中学生がスカイプというテレビ電話システムを利用して英会話の実践をしているところです。
ALTの母国アメリカのノースカロライナとライブ中継でつなぎ会話をしました。

また、下の写真は中学校3年生の国語の授業で、教科書に載っている物語の作者とスカイプでつなぎ、質問をしているところです。
自分達が読み取った内容について、作者の考えを聞いています。作者からは深い読みとりができていると褒めていただきました。

このスカイプを使って、他校の同学年と同じ教科書の単元で、内容や振りかえり等について意見交換しております。



小学校体育 跳び箱
動きを動画で撮影して振り返り



小学校3年生の体育です。跳び箱の時間です。

上の写真は指導者が、児童が台上前転(だいじょうぜんてん)をしている様子を動画で撮影しているところです。

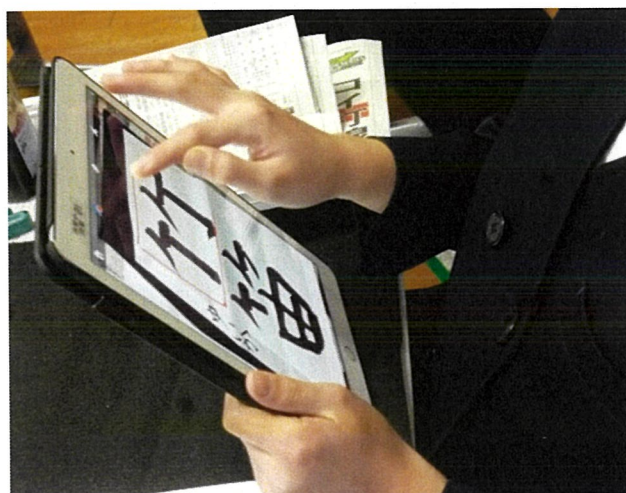
この動画をネットワークを使って、電子黒板に転送し、よかったところや直すところを説明しています。



体育の授業
手本の動きと自分の動き
を比較する



中学校1年生の体育です。
バレーボールの授業で、自分の姿を動画で映してもらい、お手本の動画と
比較しながら改善点を見つける授業です。



書写
自分の書いた字を写真に
写し、字形を考える

4年生の書写の時間には自分の書いた字を写真にとり、タブレット上で赤い枠を付けながら字形を確認する学習を行っています。



自分の考えを電子黒板に
提示して発表

小学校5年生の算数の時間です。自分の考えをタブレットPCに書き込み、それを電子黒板に転送して発表しています。
自分の考えを言葉だけでなく、図や式を使って表現することで、より多様な表現方法を学んでいます。



インターネットで調べ、まとめる。
そして、話し合う。



小学校6年生になると、自分の課題についてインターネットを利用して調べ、まとめています。

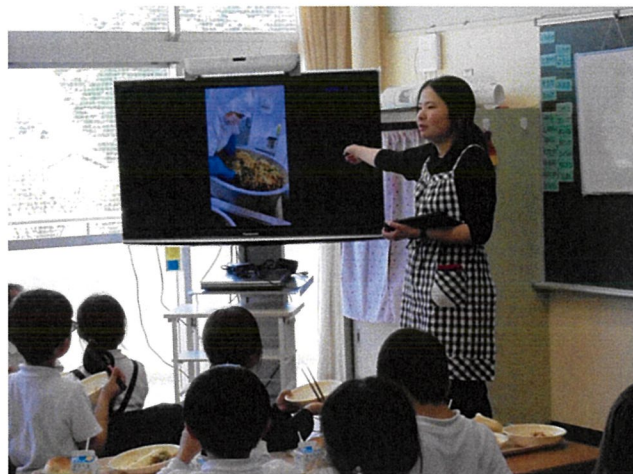
また、まとめたことを基にしてグループで話し合います。

まさにこれから求められる主体的、協働的で深い学びを実践しています。



町長・副町長・教育長
町議員の皆様へプレゼン

今年の3月には総合的な学習の時間に調べた「本町の課題とその解決に向けた提案」を 町長、副町長、教育長、町議会議員にプレゼンしました。
調べたデータを基に話し合いを重ねて具体的な提案をすることができました。



栄養教諭がその日の調理
の様子を動画で紹介

本町の栄養教諭も給食指導の際にICTを利用しています。
その日の調理の様子を動画に採り、紹介しています。
子ども達は給食を食べながら、その給食が作られていく様子を知ることが
できます。



特別支援教育
学習障がい（LD）の児童
に白黒反転教科書

特別支援教育でも有効に使っています。
特に、通常学級で学ぶ支援の必要な児童に対して有効な支援を行うことができます。この児童は読み書きに障害をもつ学習障がい（LD）で、白黒を反転させた教科書の方が読みやすい児童です。
これまで、音読できなかった児童がこの教科書を使うことで音読できるようになりました。



- 大和小的みんなに報告しよう
1. 調べることを決めよう
 2. アンケートをつくって集計しよう
 3. 分かったことや考えたことをまとめよう
 4. みんなに分かりやすく報告しよう
 5. 報告を聞いて感想や質問を伝えよう



意見交流

模造紙に
まとめて
報告



4年 国語 みんなに報告しよう



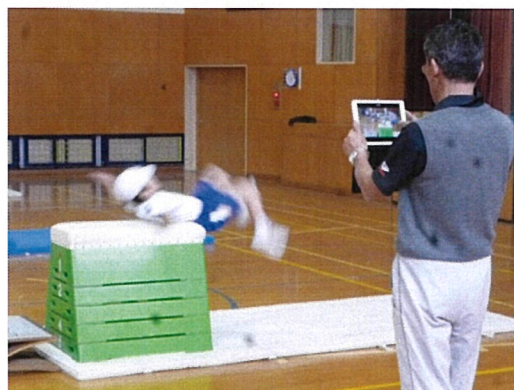
6年 総合的な学習の時間 卒業プロジェクト
夢授業のゲストとの事前交流

(8) 阿川俊治先生の体育の授業に見る「ICT」



なるほど！ もう一回見てみよう。





3年生の体育でも



課題B：自分の考えをタブレット端末に入力しよう



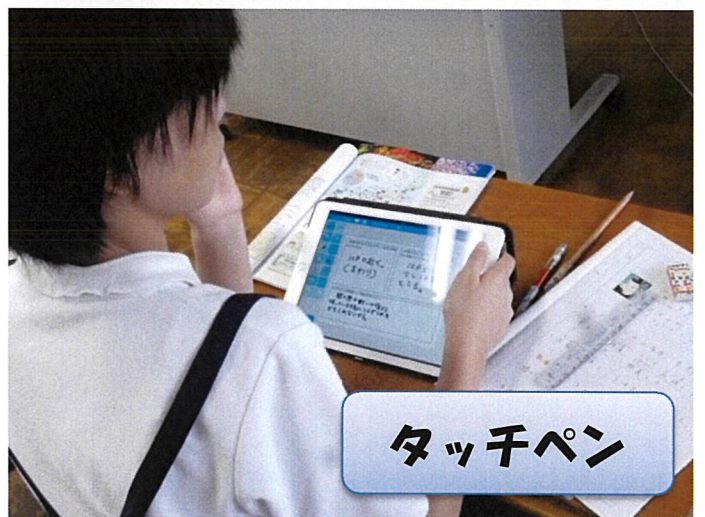
キーボード



タッチパネル

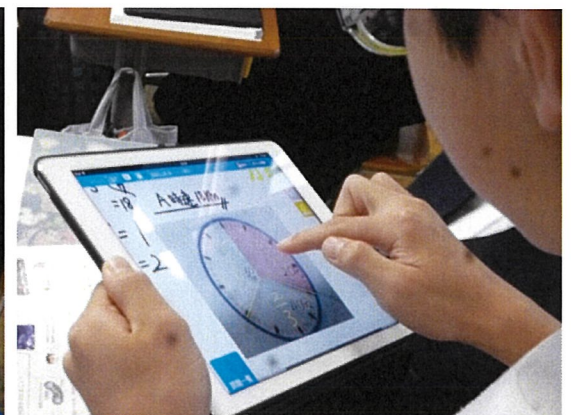


手書き（指）



タッチペン

複数の入力方法を知っていれば、自分のやりやすい方法で入力すればよい



ローマ字が苦手な者は、漢字やひらがなで直接入力
ひらめきは、直接入力の方が早い
強調したいところは、文字の色を変える
出来栄えにこだわる者は、ローマ字入力

＜形や色をとらえるのが苦手＞



カメラ機能で手元に



＜自分の考えを伝えるのが苦手＞



自分の考えを見ながら発表

＜やることをとらえるのが苦手＞

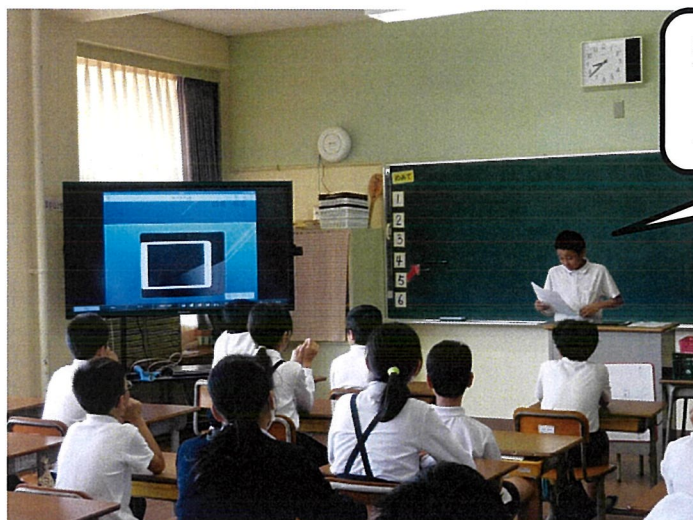


拡大して見せる



例示して見せる

＜白地に黒文字で書かれたものを読むのが苦手＞



通級指導教室の勉強で作ったパワーポイントを使って、クラスメートに自分の苦手さを伝え、DAISYを使うことを理解してもらう。



DAISY で白黒反転

